

AIスタートアップと社会

金井 良太
株式会社アラヤ
代表取締役CEO

1. アラヤは、なにを目指しているのか？

- AI技術の導入支援とアルゴリズム開発を通して、社会への有益なAI技術の浸透を目指している。
- 同時に、意識を持ったAIの開発を行い、人間の知性の計算原理から、汎用人工知能の実現を目指している。

2. アラヤは何故AI倫理を気にするのか？

①意識や脳という観点からAI研究をおこなっているため、汎用性の獲得のシナリオや、AI自身に対する配慮といった問題を考慮する必要がでてきている。また、そういった問題を考慮することが研究での着想につながることで期待される。

2. アラヤは何故AI倫理を気にするのか？

②アラヤの事業では、AI導入を支援する活動をおこなっているため、成長していくためには、社会へAIの利活用が浸透していく必要がある。不適切なAI脅威論が社会に広まると、意味のあるAI技術の導入が困難になる恐れがある。

3. アラヤが検討して欲しいと考えること

①AI倫理の課題には社会制度的な側面の他に技術的な課題がある。例としては、AIに人間の価値観を学習させる逆強化学習や説明可能性を担保するための設計方法の開発などが挙げられる。AI倫理について技術的観点から取り組む人材の育成とキャリアパス構築の検討が必要。

3. アRAYAが検討して欲しいと考えること

②AIの利活用のガイドラインづくりに向けた議論が、今後国際的に活発になっていく中で、日本国内で活動するベンチャー企業としては、国際的競争力を持てるように国内のアカデミアや産業界のAI開発者が北米や欧州の後追いになるのではなく、国際的なリーダーシップを発揮できる体制を作って欲しい。